



令和8年度における職業訓練実施計画の 策定方針について

- 1 令和8年度全国職業訓練実施計画の策定に向けた方針(案)
- 2 令和8年度神奈川県職業訓練実施計画の策定に向けた方針(案)

令和7年11月12日

神奈川労働局職業安定部訓練課



令和8年度全国職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）

令和7年度計画に挙げた課題と令和6年度の実施状況

応募倍率が低く、就職率が高い分野

介護・医療・福祉分野

- 【委託訓練】応募倍率が低下し66.3%。就職率は低下。
- 【求職者支援訓練】応募倍率は向上し73.6%。就職率は低下。

応募倍率が高く、就職率が低い分野

IT分野・デザイン分野

- 【委託訓練】
 - ・IT分野：応募倍率は低下、就職率は向上。
 - ・デザイン分野：応募倍率は低下、就職率は向上。
- 【求職者支援訓練】
 - ・IT分野：応募倍率が低下、就職率は向上。
 - ・デザイン分野：応募倍率が上昇、就職率は向上。

委託訓練の計画数と実績に乖離あり。

令和6年度も同様の傾向。

評価・分析

応募倍率	両訓練ともに約70%であり、応募倍率の上昇に向け、引き続き改善の余地がある。【A】
就職率	依然、 <u>高水準</u> で推移。

応募倍率	求職者支援訓練におけるデザイン分野を除き、その他の分野では低下しており、引き続き解消傾向。
就職率	特にデザイン分野における委託訓練や求職者支援訓練の就職率はそれぞれ68.9%、57.3%であり、就職率の向上に向け、引き続き改善の余地がある。【B】 【C】 【D】

令和8年度の公的職業訓練の実施方針（案）

A 引き続き、介護分野等の理解促進のため、職場見学会等への参加を積極的に勧奨するとともに、訓練の内容や効果を踏まえた受講勧奨の強化を行う。

また、委託訓練についてはFの措置も併せて実施。

B 本人の受講希望だけでなく、本人の職業能力や求職条件等を踏まえた適切な職業相談、訓練のあっせんを行う。また、ミスマッチ低減のため、引き続き、事前説明会・見学会の機会確保を図る。さらに、訓練窓口職員のITリテラシーの更なる向上を図る。

C 訓練修了者のスキルが活用できる求人等の確保を推進する。

D eラーニング等のオンラインを活用した訓練を受講する求職者への適切な情報提供、意識付けとともに、就職支援の充実を図る。

E 受講者数の実績等を踏まえ、必要な訓練規模を確保しつつ、計画数の見直しを図る。

F 引き続き、開講時期の柔軟化、受講申込締切日から受講開始日までの期間の短縮、効果的な周知広報等、受講者数増加に向けた取組が必要。

デジタル人材が質・量とも不足、都市圏偏在が課題。

G 引き続き、デジタル分野への重点化を進め、一層の設定促進が必要。

非正規雇用労働者等が働きながら学びやすいオンラインを活用した職業訓練の試行実施（令和6年度～）

H 都道府県・JEEDによる公共職業訓練（委託訓練）として本格実施。

令和8年度 神奈川県職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）

①応募率が低く、就職率が高い分野

「介護・医療・福祉分野」の応募倍率

- ・委託訓練は、62.2% → 66.2%に上昇
- ・求職者支援訓練は、93.5% → 68.1%に低下

- ・引き続き、求職者のニーズに応じた多彩な訓練コースを設定し、その内容や効果を踏まえた受講勧奨の強化を行う
- ・介護業界への理解を深め、就職や転職の選択肢として関心を持ってもらう取り組みを行う

検討強化

実施状況の分析

②応募倍率が高く、就職率が低い分野

「IT・デザイン分野」の応募倍率・就職率

- ・応募倍率・就職率ともに、IT分野は低下、デザイン分野は上昇

<就職率向上への対策>

- ・求人ニーズに即した効果的な訓練内容の点検・改善を実施
- ・受講希望者のニーズに沿った適切な訓練を勧奨できるようハローワーク職員の知識向上を図る
- ・訓練修了者の就職機会の拡大に資するよう訓練修了者歓迎求人等の確保を推進する等の取り組みを推進

検討強化

計画と実績の乖離

③令和4年度から継続して、委託訓練の受講申込者数、受講者数ともに減少

- ・申込締切から訓練開始日までの期間短縮等の検討
- ・ハローワーク職員向けの訓練実施施設見学会を実施し、積極的に適切な訓練を勧奨

検討調整

人材ニーズを踏まえた設定

④デジタル人材が質・量とも不足 (デジタル田園都市国家構想総合戦略)

- ・職業訓練のデジタル分野への重点化
- ・カリキュラムの点検・改善を実施

検討推進